

2. 火山の概況

(平成 16 年 8 月 12 日 ~ 平成 16 年 8 月 18 日)

浅間山では、熱、噴煙、地震活動のやや活発な状態が続いている。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は2。

三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。

福徳岡ノ場では変色水が確認された。

阿蘇山では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは2。

霧島山では御鉢の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

桜島では噴火が発生した。レベルは2。

薩摩硫黄島では噴火が発生した。

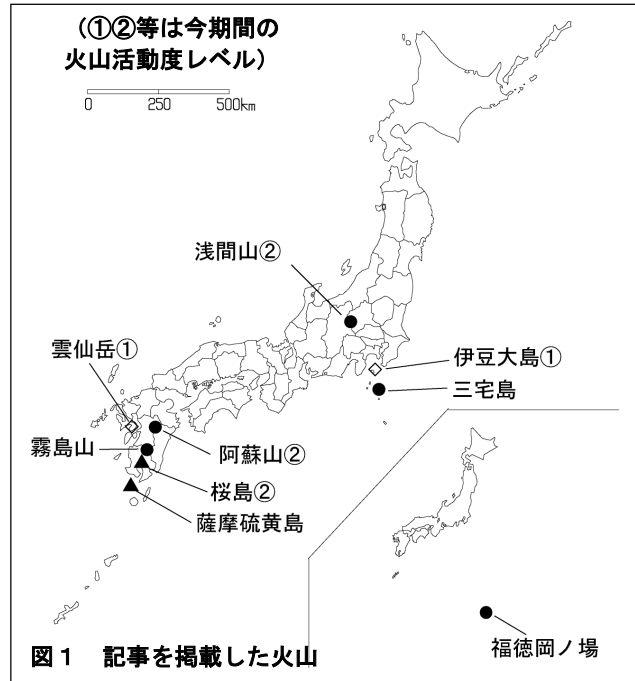


図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		三宅島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島	硫黄島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号					
34	8/12- 8/18	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲	●	●	●	▲	
33	8/5- 8/11	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●	●		●		
32	7/29- 8/4	①→②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●	●		●		●
31	7/22- 7/28	①	●	①	◆	②	●	①	◇	②	◇	●		●		
30	7/15- 7/21	②→①	◆	①	●	②	●	①	◇	②	◇	●		●		

注1 記号の意味

- ▲：噴火した火山
- ：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に变化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

● **浅間山 [地震・微動・熱・噴煙] レベル2 (やや活発な火山活動)**

地震は、今期間も1日あたり27~48回とやや多い状態が継続した。そのうち、15日09時36分に発生したM(マグニチュード)1.7¹⁾の地震では山腹で揺れを感じたが、震度1以上を観測した観測点はなかった。これに伴って、地震活動、噴煙活動等、他の活動には特に変化は見られなかった。振幅の小さい火山性微動は16日に1回観測されただけで、前期間の33回に比べると大幅に減少した。

群馬県林務部が火口縁に設置している赤外カメラでは、引き続き火口内に高温部が見られた。また、16日と17日の未明には山麓の監視カメラ(高感度カメラ)で微弱な火映現象が観測された。

山麓の監視カメラでは、白色の噴煙が最高で火口縁上1,000mまで上がるのが観測された。

地殻変動等には顕著な変化はなかった。

1) 暫定値、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び気象庁のデータを使用して算出。

◇ **伊豆大島 レベル1 (静穏な火山活動)**

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

● **三宅島 [噴煙・火山ガス・地震]**

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上800mであった。

18日に行った上空からの観測²⁾では、二酸化硫黄の放出量は日量4,200~7,100トンで依然多い状

態であった(図2)。

振幅の小さいやや低周波の地震は、1日あたり15~36回とやや多い状態で推移した。

2) 東京消防庁の協力による

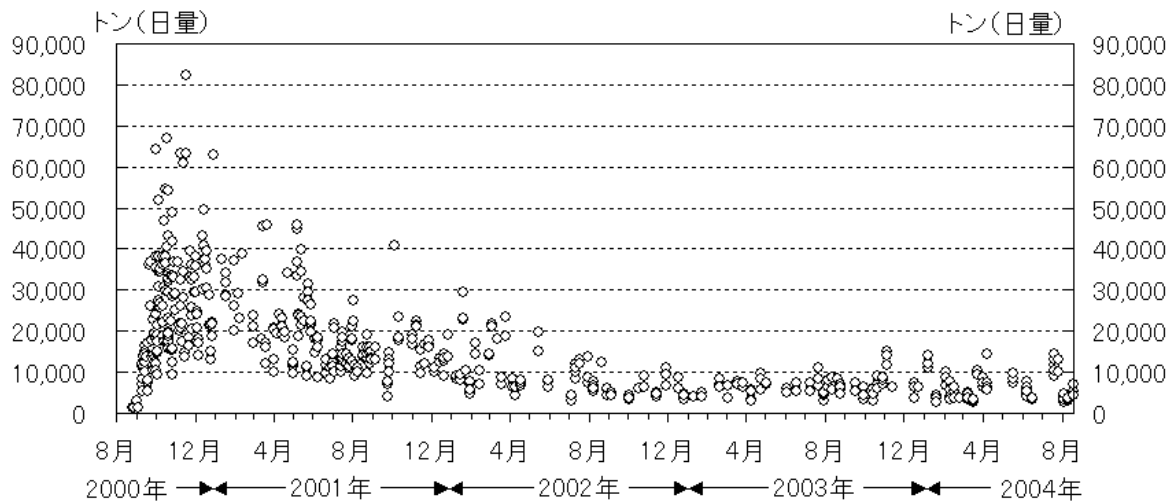


図2 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移 (2000年8月26日~2004年8月18日)

● 福徳岡ノ場 [変色水]

海上自衛隊が16日に行った上空からの観測によると、福徳岡ノ場周辺海域に半径約20mの淡緑色の変色水が確認された。

● 阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)

中岳第一火口では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。

12日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、湯量は約3割、表面温度の最高は75℃(前回³⁾は76℃)で、火口壁の最高温度は282℃(前回³⁾は319℃)と依然高温状態にあった。湯量は減少傾向にある。また、湯だまりの中央部、西側及び南側で高さ約5m、その他数ヶ所で高さ2~3mの土砂噴出が多数発生していた。南西側の噴気孔は孤立した湯だまりとなり、2~3mの土砂噴出が発生していた。

期間中、火山性連続微動が継続した。孤立型微動の発生回数は今期間589回で前期間(585回)と同程度であった。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上700m(前期間800m)であった。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

3) 前回は8月3日に実施。

◇ 雲仙岳 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● 霧島山 [噴気]

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。12日及び14~16日に時々噴気が遠望カメラで観測され、その最高は火口縁上200mであった。

▲ 桜島 [噴火・降灰] レベル2 (比較的静穏な噴火活動)

期間中、噴火が1回発生した(14日14時25分)。期間中の噴煙の高さの最高はこの噴火に伴う噴煙の1,200m(灰白色)であった。噴火が発生したのは7月2日(爆発)以来である。

12日及び13日に鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)で降灰が観測された(前期間は11

日に観測)。今期間の降灰量は0 g/m²（1平方メートルあたり 0.5g 未満の微量）であった（前期間も同じ）。

▲薩摩硫黄島 [噴火・降灰]

13日朝に噴火が1回発生した。噴煙の高さの最高は火口縁上 500m（灰白色）であった。また、三島村役場硫黄島出張所によると、15日夜～16日朝に集落（硫黄岳の西南西約3 km）で降灰が確認された。噴火もしくは降灰が確認されたのは、6月16日に集落で降灰が確認されて以来である。なお、火山性連続微動は発生しなかった。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第3号	12日 15:00	火山活動は引き続きやや活発（微小地震・微動やや多く発生、噴煙活動活発、火口底の高温状態継続、微弱な火映現象を観測）。レベルは2。
三宅島	火山観測情報第447号 ↓（1日2回発表） 火山観測情報第460号	12日 09:30 ↓ 18日 16:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
阿蘇山	火山観測情報第41号	13日 11:00	火山活動は引き続きやや活発（湯だまりの高温状態継続、湯量約3割、小規模な土砂噴出が数カ所で発生、微動連続状態）。レベルは2。